

令和6年度 第四回 芳川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年2月26日(水) 10時30分から12時40分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CS ルーム
- 3 出席委員 佐藤祐輔、鈴木幸彦、犬居和賀代、間宮年弘、林容子
- 4 欠席委員 鈴木麻里
- 5 オブザーバー 古橋一哲(南陽協働センター)
- 6 学校支援コーディネーター 前島杏里
- 7 学校 澤田正樹(校長)、大石智香子(教頭)、榛葉崇文(CS担当職員)、内田由佳(CSディレクター)
- 8 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 9 傍聴者 1人
- 10 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 11 議長の選出

司会のから、議長の選出について委員に求めたところ、間宮年弘委員が本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 次年度学校運営の基本方針の説明
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

13 会議記録

司会の大石から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

会長挨拶…よい協議ができた。3年前、学校を知るから始まった。

校長挨拶…テーマが変わっても熟議をしっかりとっていただけた。感謝しかない。

(1)学校関係者評価について

学校側から別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・いじめたほうへの指導は難しい。その保護者との折衝も難しい側面があるのでは(間宮委員)
- ・なにげない言葉がいじめにつながる。大人でもそうだと思う。自分の価値観や感覚でとらえると自分では気づきにくい(犬居委員)
- ・関係が親しくなるとそうなりやすい(間宮委員)
- ・相手のとらえ方を理解できないと、自分では判断できない。うまく把握できるかが焦点(幸彦委員)
- ・いじめについては、都度の報告や保護者への発信を積み重ねることは大事。送迎レーンも保護者向けに発信したことで、送り迎えの抑制行動がでてきたのでは。同様にいじめの発信もやったらよいのでは。最後は幸せな人生を目標とする(林委員)
- ・学校にはいじめはある、職場のいじめもあり、発展して国同士でも衝突する。子供にいじめはなくなると言われたが、いじめを少なくする、減らすことを目標とすればいいのでは、と答えた。いじめられた側はSOSだし、家庭も学校も受けとれる風がいい。相談できる環境、しやすさを作るのが大人の役目。いじめた

側の謝れる環境もあればよいのでは？自分も 30 年ぶりにあった同級生に当時あだ名で呼んだことをずっと根に持っていた、と言われ驚いた。謝る機会もほしいと思った。民生委員の犬居委員からいただいた「親子のための相談 LINE」の窓口はよいと思った。静岡県はピンクシャツデーの取り組みが遅れている。新聞で取り上げられて他校にも影響があるとよい(佐藤会長)

・いじめは初期段階で止められないか。クラス委員がいた時代にはその存在が大きかったのでは。教師の目が届かない状況では、子供の中にそのような子がいるとよい。いわゆる「バッジ」をもってるといいやすい(間宮委員)

・影響力のある子が少なくなったのでは？昔はいたが、今はなくなった(幸彦委員)

・子供同士もいいにくいのでは？いじめをかばうと対象が自分にくるという恐れもはらんでいる。子供同士のグループワークがあっても良いのでは？(犬居委員)

・医師が保健室の先生になったドラマでは、子供同士が話し合う場面があった。先生たちがすごくよく子供たちを見ている。子供の心のゆらぎや苦しさのSOSを周囲の大人が受け取り、子供にそれを返す(林委員)

・民生委員の協議会でもグループワークをやったが、そこで組織の運営の正しさについて話し合ってもらった。見えてこなかったことが見えてくる。子供たち同士で話し合うのは良いのでは(犬居)

・4、5 人のグループが良い(間宮委員)(犬居委員)

・登校中の子と話す、子供は正直に答えてくれる。昨日母親に叱られたことや、お母さんの寝坊したエピソードなども身の回りのことをグループで話すのはよい。言いやすい状況を作るのは良いのでは(幸彦委員)

・「子供の幸せ」は家庭が幸せ、「家庭が幸せ」は地域が幸せ、に相関する(間宮委員)

・あいさつをしてくれる子が多くいる(林委員)

・いじめている子も苦しいのだろう(間宮委員)

(2)次年度学校運営の基本方針の説明

校長から、資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・自分を一番大切にしたい。子供もだけど、教職員もそう。合わない子もいると思う。その経験を逆手に取り、子供たちに苦手な人との付き合い方も教えてあげたい。グループワークでもそういう話が良いと思う。学習については、指を使った掛け算九九など。静岡教育サークル「シリウス」ホームページに載っている。教員に紹介してもらいたい。楽しい授業のアイデアの一助になるかも(間宮委員)

・「カッコいい」教職員について。多様性あってよい。ある先生の指導について考える機会があったが、その先生の熱意はすごく感じた。教員間で授業のやり方が共有されなかったことは問題だが、先生方の授業のやり方の自由な発想はあってよいのでは。魅力や能力を発揮できる授業を。学校の先生になりたい、という子がいてほしい。自由度を広げてほしい。いろいろな先生がいる学校のほうが良い。同じ色に先生たちが染められていないか、と思うときがある。金八先生のセリフに感銘を受けたことがあるが、「教師にとって、終業のチャイムが鳴るのは、子供たちが大人になって、何気ない日常の中で先生の教えをふと思い出したとき」とある(佐藤会長)

・「ダジャレばかり言ってないで授業やって。」と言った子供は楽しい授業の本質をわかっていることに驚き、感動したことがある(間宮委員)

・浜松市の教員志望数は減っていない(間宮)

・教員は異動があるが、地域のメンバーだけは変わらない。地域としては、先生方にも上手に引き継いでいただきたい(佐藤会長)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3)学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、会長から自己評価について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・郵便局等にほうがわクスノキ応援団の募集のチラシをおいても良いのでは？(佐藤会長)
- ・良い方向に向かっている。子育て世代は忙しい。チラシで募集(間宮委員)
- ・学校運営協議会のことも、委員についても、地域の方は知らない率が多いのでは。IT を使用しない年齢層にも発信できないか。自治会の掲示板等の活用など(犬居委員)
- ・広報は必要。いかに良い広報ができるかが重要(幸彦委員)

熟議おわり

14報告

- ・学校より CS 加算分報告
- ・学校支援コーディネーターより報告

協働センターより

協働センターの掲示板を使ってほしい。ボランティアメンバーの募集や CS の内容紹介なども情報発信としてできる。芳川北とともに並べて出してもよいのでは？

間宮委員

薬物依存は浜松市は多い、中でも南区が多く、オーバードーズが多い。薬物中毒は食い止めたい。強い意志をもつ人間性を育ててほしい。よい3年間だった。ありがとうございました。

15連絡

- ・R7年度 第1回の協議会は、5/12(月)午後1時30分から CS ルームで開催する旨の報告があった。